

不登校再び急増・家庭だけの責任ではない

小学生は40%増の非常事態

一昨年度と昨年度の比較で、不登校が急増したことが分かりました（左表）。

小学生は40%近く、中学生は13%の増加です。また、これまで余り目立たなかった四ッ葉学園でも、中学校相当の前期部分で3倍の発生率になりました。

10年のスパンで見れば減少?!

教育長は、今年2月の就学前教育・

不登校の人数と発生率

	2014年度	2015年度
小学校	57人 0.46%	75人 0.62%
中学校	206人 3.28%	230人 3.70%
四ッ葉学園前期	3人 0.48%	6人 1.56%

保育の検討委員会で、不登校は「どんどん減ってきています。」と、全く逆の説明をしていました。

この点を議会で指摘されると、今度は「10年のスパンで見れば減少」と強弁する始末。現実には正面から向き合おうとしないのでは、原因も解決策も見えませぬ。伊勢崎市の中学生の不登校発生率は、ここ20年間ほど常に全国平均を1%以上、上回る事態が続いています。

家庭や子どもにばかり原因を求めるのではなく、「どの子どものびのびと学び合っている、育ち合える学校にするにはどうしたら良いか」と、真剣に考える時期ではないでしょうか？

大規模学校、大規模学級解消こそ

境島小の様な小さな学校は廃校にしても、大規模校や大規模学級は放置したまま。これでは、子どもの小さな変化や声に聞き合うことは難しいと思います。

少人数学級実現や、不登校の子の居場所づくり、学び育つ権利を保障する体制づくりが急務です。

安保法制（戦争法）強行1年 廃止へ群馬大集会

伊勢崎市議会は、昨年中に市民団体が提出した「安保関連法の廃案を求める意見書」請願を、審議未了・廃案にしました。全国では、昨年末で17都道府県48議会が可決。廃止を求める意見書が、引き続き可決され続けています。

この法案が強行採決された9月19日から1年を前にした9月17日、高崎城址公園で「群馬大集会」戦争法廃止！憲法改悪阻止！安倍政治を許さない！〜が開かれました。県憲法共同センター、戦争をさせない1000人委員会・群馬、ぐんま市民連合へいわの風の3団体が共催。各地から1,200人が集いました。北島・長谷田両市議も、参加しました。



戦争法強行から1年。廃止を求め、9.17群馬集会に参加しました。